

精神科認定看護師 実践報告

精神科認定看護師は全国のさまざまな施設で、質の高い看護実践に取り組んでいます。その現場での実践内容を紹介します。
*なお、倫理的配慮として個人が特定されないよう、事例には改変を加えています。

精神科認定看護師 JOURNAL

人生経験と障害特性をスタッフ間で共有し、かかわる

くり返されるトラブル

——どこに問題があるのかを見極める

私は現在、慢性期療養病棟に勤務し、統合失調症や認知症、身体管理が必要な長期入院患者さんを対象に看護実践を行っています。

A氏は統合失調症・ASD(自閉スペクトラム症)の診断を受けている20代後半の男性です。急性期病棟から私が勤務する病棟にA氏が転入してきたことから、かかわりがスタートしました。入院生活のなかでA氏は、ゲームの勝敗をめぐってほかの患者さんとトラブルをくり返し、ほかの患者さんやスタッフに対する暴力行為もあり、隔離処遇が必要な状態が続いていました。

A氏自身も、対人関係が苦手なことやゲームでトラブルを起こしやすいことを自覚して、「またやってしまった……」と落ち込む一方で独自のルールを主張し、自身の行為を正当化するような言動が見られ、トラブルが生じるたびに隔離処遇が遷延化しました。A氏自身の失敗体験がくり返されることで自尊心の低下を招き、問題をこじらせてしまっていると考えられました。

そこで、ゲーム等の使用について枠組みを設け、行動療法的に開放観察時間の拡大をはかっていきました。開放観察の時間については、病棟カンファレンスで話しあいを行いながら進めることができましたが、ゲーム等の制限については「何のための制限なのか?」と病棟スタッフから声があがることもありました。そこで、A氏の特性に応じたかかわりの必要性や目的について説明し、病棟勉強会を実施するなどして理解を求めました。

A氏の成長を感じながら

——開放観察時間の拡大へ

現在も、トラブルを生じやすい状態にありながらも、開放時間の拡大がはかられ、看護師の助言を受け入れながら自身の行動を振り返ることができるなど、成長を感じられる機会が増えていきます。障害特性や症状に配慮したかかわりを行うことももちろん重要ですが、患者がこれまでどのような人生を歩み、どのようなことを感じてきたのかという視点を大切にしながら、患者のもつ力を発揮できるように看護実践を継続していきたいと考えています。



今野美香(この・みか)
東北福祉大学せんだんホスピタル
精神科認定看護師
(2011年登録)(宮城県)

児童・思春期精神看護の臨床に携わるうえで、知識や技術が伴わず歯がゆさを感じ、「自信をもって患者や家族にかかわりたい」と思ったのが、精神科認定看護師を志したきっかけです。

第17回 精神科認定看護師受講資格審査のご案内

令和5年度の精神科認定看護師教育課程は、現行制度で実施します。つきましては、受講生を右記のとおり募集します。

なお、近年、2年コースの出願者が減少しているため、8か月コースを前提に募集しますが、途中で2年コースに変更することも可能です。詳細は日精看オンラインでご確認ください。

- [募集人員] 80名(8か月コースのみ募集)
- [出願期間] 2022/9/1(木)～2022/9/30(金)(必着)
- [出願資格] 表1(1)～(2)の条件を2022/9/30時点で満たす者
- [出願書類] 日精看オンライン参照
- [審査科目] 小論文、書類審査
- [審査日程] 2022/11/8(火)
- [審査会場] オンラインにより実施
- [出願先] 日本精神科看護協会 受講資格審査出願係
- [資格審査料] 会 員：16,500円(税込)
非会員：27,500円(税込)
*資格審査料は出願書類を受理した後、10月上旬に振込用紙を送付。
- [審査結果] 2022/12/2(金)、本人へ書面による通知。
また、合格者の受験番号をオンラインで公表。
- [その他] 小論文の試験は審査日にオンラインで実施するので、インターネット環境を整えること。

表1	出願できる者の要件
	(1)日本国の看護師の免許を有すること。 (2)精神科認定看護師として必要な実務経験を積んでいること。ここで必要な実務経験とは、看護師の資格取得後、通算5年以上の看護実務に従事し、そのうち通算3年以上は精神科看護実務に従事していること。 ①出願者は、臨床で実務を行っていること。 ②出願者が臨床で実務を行っていない場合は、精神科看護を実践する場を1か月に28時間以上(週7時間程度)もち、それを証明すること。

過去3年分の受講資格審査の小論文問題を掲載しています。申込方法は、日精看オンラインの精神科認定看護師制度のページでご確認ください。
販売価格(税込)：1冊550円(送料別)